

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | |
|-------------------|--|---|---|---|------|----------|--------------------|-------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | 柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。 | ① Semester制の導入に向けた諸課題の整備と調整を行う。 ② 生徒の主体的な学習を促す授業の研究を行う。 | ① 生徒一人ひとりのニーズや興味・関心に応じた学習が可能となるよう、履修指導を充実させる。 ② 生徒が主体的に学習に取り組むための学習支援について研究を行う。 | ① 受講を希望する生徒に対して、卒業を見通して必要な指導を確実に行うことができたか。 ② レポートの添削指導やスクーリングなどの機会を通して行える学習支援について、研究成果を教員間で共有できたか。 | | | | | |
| 2 生徒指導・支援 | 多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。 | ① 外部の機関や人材と連携し、積極的に活用する。 ・マナーアップを推進し、コミュニケーション能力を育成する。 ② 生徒が主体的に活動する環境づくりを進め、自己肯定感を向上させる。 | ① SC、SSWの積極的活用を図るために、教育相談コーディネーターを中心とした組織を作り、職員全体の情報共有の仕方を工夫する。 ・挨拶や受け答えを促すために積極的に声かけをする。 ② 学校行事に限らず、生徒が参加する機会を増やす。 | ① 組織作りを行い、情報を共有しながら組織的な活動が展開されたか。 ・生徒とのコミュニケーションを図ることができたか。 ② 生徒の自己肯定感を向上させられたか。 | | | | | |

| | 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | |
|---|--------------|--|---|--|---|------|----------|--------------------|-------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 3 | 進路指導・支援 | 生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。 | ①キャリアサポート体制を拡充する。 ・「生きる力」を育む。 | ①進路相談支援員等を活用しながら、キャリアサポート体制を充実させる。 ・外部教育力を活用しながら、将来を見通して活動する意識を持たせる。 | ①相談した生徒数が増えたか。きめ細かい対応ができたか。 ・生徒の自立する意欲を高め、活動に繋げることができたか。 | | | | | |
| 4 | 地域等との協働 | 地域に理解され、信頼される活動を推進する。 | ①地域の学校等と連携するなど、地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・日々の教育活動について、より丁寧な情報発信を行う。 ・地域の防災活動について協働を図る。 | ①近隣の小中学校や養護学校他、様々な行事の手伝い等の地域貢献活動を通して地域との交流の場を増やす。 ・学校説明会やホームページ等を通して、通信制の学びのシステムを広く発信し、理解を図る。 ・通信制として、地域との防災活動とのかかわりを整理する。 | ①通信制生徒と地域との交流の場や地域貢献活動を増やせたか。 ・通信制の学びのシステムを十分に発信し、広く理解を得ることができたか。 ・地域に通信制の特徴を理解してもらえたか。 | | | | | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | 安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。 | ①学校運営マニュアル等を作成し、内容の周知を図る。 ・三課程で実施する防災訓練を定着させる。 ②ICT機器の活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。 | ①学校安全・安心管理計画を作成し、それを職員に周知させる。 ・生徒・教員の防災意識を高め、避難の経路や方法を事前に周知させる。 ②校内ポータルサイトを活用して施設・設備・授業等について三課程の情報共有をさらに進める。 | ①学校運営マニュアルが職員に周知されたか。 ・生徒・職員の防災意識が高まったか。また避難の経路・方法等が周知されたか。 ②校内ポータルサイトの利用状況が増え、三課程の情報共有がより一層進んだか。 | | | | | |

